

1 学校の教育目標

豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、何にでもチャレンジする

健やかな片貝っ子の育成

【目指す子ども像】

～仲間と共に学び合う健やかな「かたかい」の子ども～

「か」 考えて、よく学ぶ子ども（自ら学ぶ意欲）

「た」 助け合い、仲よくできる子ども（豊かな心）

「か」 体を鍛え、よく遊ぶ子ども（健康な体）

「い」 いつも、あいさつ、返事、そうじがきちんとできる子ども（規則正しい態度）

2 本年度の重点目標・特色ある取り組み

- 1 充実感・満足感を味わわせ、魅力ある学校生活を創造する。
- 2 基礎・基本の定着を図るとともに、「自ら学び、思考し、表現する力」の育成を図る。
- 3 健康・安全教育の充実を図る。
- 4 家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進する。
- 5 研修活動の充実に努める。
- 6 「不祥事根絶」「働き方改革」を常に意識し、実践に繋げる。

3 具体的な評価項目の取組・達成状況

評価項目		結果	考 察
目標 1 豊かな人間関係・基本的な生活習慣	①学校生活を楽しく過ごすことができたか。	A	児童の95%、保護者の89%が「学校生活を楽しく送っている」に肯定的回答をしている。教育課程が最大限に展開され、各学級の経営が順調に行われたこと、運動会やマラソン大会・お餅つき、縦割り班遊び、全校かくれんぼ、学年の校外学習等魅力的な行事が行われたためと考える。
	②いじめがなく、友だちと助け合っているか。	A	児童の92%が、「いじめたり、いじめられたりすることなく、友だちと助け合っている」と答えている。いじめのない集団作りへの取り組みでは、定期的なアンケートの実施やスクールカウンセラーの活用、教育相談週間では個別の相談に誠意を持って適切に対応できたことで、保護者の90%が学校の取り組みを肯定的にとらえている。しかし、児童個々を見ると、友人関係に悩む児童も見られるため、学校全体で更に注意深く児童の人間関係を見ていく必要がある。
	③基本的な生活習慣は、身に付いているか。	A	「そうじ」については、黙働清掃を呼びかけ全校で取り組んできた。96%の児童が清掃を頑張っていると答えている。また、「あいさつ」については、児童の肯定的回答94%に対し、保護者の評価は83%と低くなっている。実際、生徒指導委員会で挨拶ができていないという課題も挙げられたこともあった。各学級での指導と同時に児童会を中心に朝のあいさつ運動を行う等、全校を挙げての取り組みを継続していきたい。

評価項目		結果	考 察
目標 2 学力の定着・向上	①授業はわかりやすく、学習したことを理解することができたか。	B	全教職員が授業力アップに努めており、ICTの効果的な活用が進み、「授業はわかりやすい」と答えた児童は96%となっている。（保護者は79%）しかし、児童の学習習慣の定着を尋ねる保護者への問いでは、66%に低下してしまうため、学ぶ楽しさを感じさせる工夫と、家庭学習の充実を図るための取組を進めたい。
	②教師は一人一人に目を配り、わかりやすい授業を心がけているか。	A	授業中の一人一人に対する支援では、96%の児童が、先生の励ましを感じている。保護者も、特別な支援に関し、91%が肯定的な評価をしている。継続して取り組んでいきたい。
	③授業において、学習のルールが身に付いているか。	A	話の聞き方や発表の仕方等、学習ルールの徹底については、90%の児童が肯定的な見方をしている。学習のルールが定着し落ち着いた学習環境が整えられているが、さらに児童の深い学びのために、ルールの定着を図っていきたい。

目標 3 健康・安全 教育	①ルールへの遵守や健康・安全に対する意識を持って生活しているか。	A	ルールの遵守について、児童・保護者ともに、95%を超える高い評価が見られた。健康、安全に対する意識については、日常的指導と共に、避難訓練、食育・歯磨き教室等、安全や健康に関する授業を行うことで、児童・保護者ともに90%を超える肯定的回答であった。児童の安全は最優先事項である。ルールを守り安全に行動できるように、継続して指導していきたい。
	②学校は、学習しやすいように整備されているか。	A	児童の97%、保護者の96%が「校舎内や教室は、落ち着いて学習ができるように整えられている」と肯定的回答をしている。校庭についても、児童・保護者ともに96%が肯定的回答をしている。各学級の整理、グラウンドの整備や草刈り、樹木の伐採を行い安全で見通しの良い学校になるよう引き続き取り組みたい。
目標 4 家庭・地域 の連携	①積極的に情報を発信し、家庭や地域との連携を深めているか。	A	学校からの情報発信については、99%の肯定的回答を得ている。学校だより、学年だより、メール配信等により活動の様子を積極的に発信する事ができた。今後も、学校の方針や取り組みを伝える機会を大切にしていきたい。
	②PTA活動は充実しているか。	B	今年度は、町PTA幹事校として運営を行った。また、郡市PTAバレーボール大会では、3位に輝いた。そのような中、95%の保護者がPTA活動の充実を感じている。一方、保護者自身の参加意識については、68%と低迷している。年々低下している傾向が見られるので、呼びかけの工夫を図りたい。しかし、家庭の事情により参加できない場合もあるため、相互に助け合う体制、雰囲気を構築していきたい。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	考 察
A	10項目のうちA評価が8項目、B評価が2項目であり、総合評価をAとした。本年度の重点目標達成に向けて様々な取り組みを行ってきたが、児童・保護者の方々から一定の評価をいただいたことに感謝している。特に、保護者の方々の本校教育活動への関心の高さと子ども達への関わりの深さがわかった。 一方、学力の定着・向上をはじめ、各項目において否定的評価をしている児童・保護者も少なからずいることがわかった。特に、保護者は、昨年度に引き続き学習する習慣と読書について課題を持っている。学習する習慣に関してはタブレットの活用等で取組を進めたが、今後効果が上がる方法について検討していく必要がある。読書に関しては、読書カードを活用したり、生徒指導委員会で課題を共有し呼びかけを行ったり、保護者による朝の読み聞かせ活動を行ったりしたが、効果が上がっていない。より職員の意識を高めるとともに、保護者と協力して課題に取り組めるようにしていく必要がある。 総合評価はAとしたが、批判的評価をしている保護者、そして、課題を抱えている児童がいることを忘れず、今後もより良い学校教育推進のため職員一丸となって邁進したいと考える。

5 今後の取り組み

項 目	具体的な取組方法
学力の定着 (基礎・基本の定着)	①わかる授業の工夫 ②個に応じた指導の推進 ③電子黒板、タブレット等の I C T 機器の効果的な活用 ④スタディタイム・補習授業の充実 ⑤学力向上推進委員会の活性化 (課題に対する具体的手立ての策定) ⑥宿題の出し方等に関する再検討 ⑦読書活動の勧め、読書指導 (家庭への協力体制作り)
魅力のある教育活動	①外部人材の活用 ②学校行事等の充実 (運動会、マラソン大会) ③校外学習の充実 ④朝マラソンの実施 ⑤読書タイムの充実 (保護者読書会) ⑥ロング昼休みの実施
仲良く助け合える 友だち関係づくり	①全教育活動を通しての道德教育の充実 ②幼小中の連携 (生徒指導の充実・長欠者等の対応・特別支援教育) ③体験活動の推進 ④縦割り班活動の継続 ⑤一人一人の児童との教育相談週間の充実 ⑥あいさつ運動の奨励 ⑦ S C ・ S S W ・ 学校訪問相談員による相談活動の充実 ⑧悩み相談ボックスの活用

6 研修活動、働き方改革について

- (1) 本校は、千葉県教育委員会から令和4・5年度食育指導推進拠点校の指定を受け、研究を進めた。そして、令和6年度は本校の課題でもある学力向上を目指して、【算数科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善～協働的な学びの充実を通して～】の研究に取り組んできた。東上総教育事務所から指導主事をお招きし、2学級で授業展開を行った。また、若年層研修のため、3学級で希望する教科の授業展開を行い、研究や授業内容について研修を行った。さらに、相互授業参観を行い、それぞれの職員の良さを吸収する機会を設けた。今後も、職員の指導力向上を図り、児童に還元できるように研修活動を充実させていきたい。
- (2) 働き方改革については、校長のリーダーシップのもと、仕事の効率化、削減、時間を意識した働き方、退勤の呼びかけ等に取り組み、昨年度に引き続き職員の時間外勤務が削減された。これにより、職員の精神的なゆとりが感じられるようになり、教育効果も高まっている。来年度は、学校徴収金を原則口座振込とすることで、働き方改革と合わせて、不祥事や各種問題等のリスクの軽減を図る予定である。